

会 議 録

1 会議名

令和5年度第10回板倉区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○報告事項

- ・日帰り・宿泊温浴施設の適正配置の取組について（公開）
- ・経塚斎場使用料補助金について（公開）

○その他

- ・板倉まちづくり振興会と地域協議会の意見交換会について（公開）

3 開催日時

令和6年1月19日（金）午後6時00分から午後7時08分まで

4 開催場所

板倉コミュニティプラザ 201・202会議室

5 傍聴人の数

2人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・委 員：平井達夫（会長）、古川政繁（副会長）、池田光男、小林政弘、植木節子、手塚哲夫、山本茂、下鳥治、田中睦夫、秋山秀夫、吉田重夫、長藤豊（1人欠席）
- ・事務局：板倉区総合事務所 古澤所長、内藤次長、小林次長、清水教育・文化グループ長、高橋建設グループ長、関根産業グループ長、市村市民生活・福祉グループ長、小池地域振興班長、橋詰主査、金井主任（以下グループ長はG長と表記）
資産活用課 竹下課長、小関係長
観光振興課 青柳副課長
福祉課 丸田課長、佐藤副課長

8 発言の内容（要旨）

【内藤次長】

- ・会議の開会を宣言

【平井会長】

- ・挨拶

【古澤総合事務所長】

- ・挨拶

【平井会長】

- ・条例第8条2項の規定により、半数以上の委員の出席を確認。会議の成立を報告。
- ・会議録の確認を吉田委員に依頼。

4 報告事項 日帰り・宿泊温泉施設の適正配置の取組について、本日は資産活用課と観光振興課から出席いただいている。資産活用課竹下課長から説明をお願いする。

【竹下課長】

- ・資料1に基づき説明

【平井会長】

今ほど説明があった。質問、意見のある方は挙手を求める。

【小林委員】

やすらぎ荘の場合は、前も同じような質問をしたかもしれないが、地理的に不利な面あるいは老朽化が進んでいることを考えると、はたして民間事業者の引き受け手があるか疑問なところがある。地域と協議をするということになっているが、長年関わってきた地元の人達は、方向性がどのようになるのだろうかと一番心配されていると思われる。これからの新たな営業戦略や集客アップを含めて具体的にワーキンググループ等を設置し、協議していくべきと個人的に考えるがどうか。

【資産活用課：竹下課長】

市として今の施設の老朽化、陳腐化をしっかりと維持修繕していくという方法もあるかと思う。ただ今回民間活力の活用を検討していく部分は、民間資本を活用していく中で、そこに例えば投資の効果が認められるのであれば、一定程度の投

資修繕を民間からやっていただけるのではないかという観点も少なからずあるので、まずは提案をしっかりと聞いて、その提案について行政でもしっかりと考え、また地域の皆さんにもしっかりと示して、そこで賛同が得られて、この事業者に施設機能の継続を図っていこうと、そのような判断になれば民間活力の活用の方に舵を切らせていただきたいと考えている。

【古澤総合事務所長】

ネクストリゾート（株）に会社が変わって約1年経つが、実態がどうだったのかとか、自分たちが新しい会社になってやってきたことに対して地域の皆さんから意見を伺って、また検証して次の営業に繋げていくというところは、必要だと思っているので、そこについては会社の方に申し入れしたいと思っている。

【植木委員】

やすらぎ荘だけでいいが、令和4年度はまだコロナ禍であったが、令和5年度の利用者数を教えてほしい。

【関根産業G長】

令和5年度は11月までの実績であるが、食堂を除いて約1万8,600人、食堂については約7,400人の利用があり、コロナ禍前の令和元年度と比べると総数では11月までの分でおおよそ9割くらいまできている。食堂については75%くらいになっている。昨年度と比べると同数程度となっている。利用者数は持ち直してきているのではないかと思う。

【平井会長】

他にあるか。

（特になし）

この件については以上とする。次に経塚斎場使用料補助金について、本日は福祉課から出席いただいている。福祉課丸田課長から説明をお願いする。

【福祉課：丸田課長】

・挨拶

【福祉課：佐藤副課長】

・資料2に基づき説明

【平井会長】

今ほど説明があった。質問、意見のある方は挙手を求める。

(特になし)

なければ、この件については以上とする。

次に5その他 板倉まちづくり振興会と地域協議会の意見交換会について事務局に説明を求める。

【小池地域振興班長】

- ・資料3について説明

【平井会長】

今ほど事務局から説明があった。皆さんのご協力をお願いする。質問、意見のある方は挙手を求める。

【下鳥委員】

お願いがあるが、コースマップがついているが少し分かりづらいので、大きくした地図を出してもらいたい。

【小池地域振興班長】

当日の意見交換会時には対応してもらおうよう伝える。

【平井会長】

他にあるか。

(特になし)

この件については以上とする。事務局から何かあるか。

【小池地域振興班長】

- ・次回日程の確認

【清水教育・文化G長】

宮古島市城辺交流事業における児童の来越中止について報告する。元日に発生した令和6年能登半島地震を受け宮古島市城辺公民館長より宮古島市城辺交流事業の児童の来越について中止するとの連絡があった。板倉区は地震における大きな被害はないのでとても残念ではあるが、全国ニュースで流れる関川の津波の映像などを目の当たりにすると、上越市は被災地に他ならず、例え引率がつくとはいえ、親元を離れ子供が被災地に来るということに抵抗があるというのは無理もない話なのかなと思っている。ただ、児童の来越は叶わないが、リモートで交流

は行いたいと考えている。また、板倉の産品などをお送りして、少しでも上越や板倉を感じてもらえるように取り組んでいきたいと思っている。このようなかたちの交流となることは非常に残念ではあるが、今できることを最大限に行いながら交流したいと考えているので、ご理解を賜りたい。

【平井会長】

今ほど事務局から説明があった。質問、意見のある方は挙手を求める。

【田中委員】

地震に関連してだが、昨年11月に針地区の防災訓練があった。今回の1月1日の地震を受けて、やはり板倉区全体として訓練が大事だと思った。針の場合は分担して炊き出し班などいろいろと作っており、それに基づいて動くということになっているが、書面上ではそのようになっているにもかかわらず実際にそういった訓練をやったことはない。役員もほとんど2年くらいで変わってしまう。

今回の能登半島の地震を見ていて、板倉区でも山間地があるので、いざというときのために板倉区として全体の訓練が必要ではないかと町内では話が出ている。行政サイドとしてもその辺をどのように考えているか、集約の機会もないと思うが町内会長連絡協議会等もあるので、意見集約をして実りのある訓練が必要でないかと考えている。

【古澤総合事務所長】

今までの訓練はある程度想定した中で行われていたが、今回これだけの地震があり、津波があった。板倉区をまず見て、防災訓練の在り方というのをもう一度見直さなくてはいけないのかなということを私も強く思っているし、今板倉まちづくり振興会でも防災イベントを行っているが、防災訓練については総合事務所とまちづくり振興会、防災士会等と協議を重ねて、取り組めるように前向きに検討していきたい。

【長藤委員】

板倉区全体の訓練としては平成27年に上越市の総合防災訓練を行っている。防災士会としては、明日役員会があり、2月14日に防災アドバイザーの研修が予定されているので、その中で今回の災害に関してどのような動きをしたかということ整理して、今後どのような体制を作っていくかという話をすることにな

っているので、結果が出たらお知らせしたい。

【平井会長】

他にないか。

【手塚委員】

寺野地区連絡協議会から、皆さんにお願いがある。2月11日に寺野遊雪まつりを予定している。ポスターも出来上がり各戸に配布する。一人でも多くの方から来てもらいたい。まつりに合わせてボランティアの方も何人来るかは分からないが、いろいろな作業を手伝ってもらったり、板倉小学校6年生の児童からも雪像を作ってもらったりということもする予定となっている。一番最後には花火を行うので、寺野の方に来ていただければありがたい。屋台では地元のものを出す予定である。

【平井会長】

他にないか。

【小林委員】

地震の関係で、防災士会の話があったが、私の町内に防災士が2人いて、地震当日私の方に直接連絡が来て、どのように動けばいいかと問い合わせがきた。今回会議をやるということなので、防災士の役割分担、連絡体制、避難所開設したときの動きをしっかりと決めていただき周知してもらわないと、町内会長にどうすればいいと言われても困るのでぜひお願いしたい。それから、水道に関して1日に寺野地区でいろいろとあったが、2日、3日と同じ町内の4、5件から水道が濁っているがどうなっているかと連絡があった。少し様子を見てほしいと話をしてそのあと収まったが、情報提供する。

【古澤総合事務所長】

私も1日2日と総合事務所にいたが、水の濁りでガス水道局の職員が徹夜しながら対応していた。そういった連絡が届いていないというのは今初めて知ったので、来週早々に情報を伝えたいと思う。

【池田委員】

地震に関してだが、先日田んぼの関係で被害状況を確認してくれと連絡がきたが雪が多く確認ができていない。雪解け後に確認したいと思っている。専門家で

はないので、地震による被害なのか、融雪による被害なのか分からない。

【関根産業G長】

農地関係の災害に関しては、現場確認されたらその都度連絡をいただきたいと思う。地震によるものか融雪によるものかは分からないと思うので、そこは行政の方で確認させていただく。

【植木委員】

地震で我が家の裏の別所川のところが崩れ、連絡したがその後の回答がない。

【高橋建設G長】

その件については、上越地域振興局の河川の維持管理の方に連絡済みで、確認に来るということを伺っているが、その後の対応については把握できていないので、分かり次第お伝えしたい。

【平井会長】

1月1日に上越市でも震度5強の大きな地震があり被害も出て、住民が不安を感じたというところである。被害状況については報道されているとおりであるが、このような中で、板倉区の中での防災士会の活動状況はどうか、日常の活動はどうなっているのか確認をしたい。各町内においては消防団が出て、町内会長、農家長も出ている。そういった中で防災士会というのがあるがどうなっているのかという意見をいただいた。今長藤委員が支部長をされているということなので、その辺のことについて発言いただきたい。

【長藤委員】

防災士会として、災害発生時にどういった行動をするかということは規約に定めていない。板倉だけでなく、市内全域でどういった行動をしたかとか、どういった取り決めになっているかというのを情報収集して、改めて防災士会の方で取り決めをとることになっていて、後手後手になってしまっているが、そういうかたちに今後なっていくと思う。実際に避難所が開設された場合はどうするかという問題もあるが、避難場所の問題もある。避難所、避難場所の区分けをはっきりさせて、それぞれどういった動きをしなければならないかというところも考えなければならないので、その辺は避難所と避難場所の区分けがどういう違いがあるのかというのを分かっていない方がいらっしゃるようなので、その辺のところか

ら説明しながらそれぞれどういった行動をしなければいけないかというのを細かく取り決めていきたいと思っている。実際、防災士が今回の地震でどうやって動いたかというのは分からない。

【平井会長】

板倉区としてどうしたらいいかというのを取り決めていただきたい。そして公表してもらいたい。会長として願います。2つ目であるが、高田区の人から封書が届いた。内容を掻い摘んで話すと、町内の防犯灯LEDの取り換え及び修復に関する事で、これに伴う取り換え費用、修理費用については全面的に町内会で負担となっているが、市で予算化してもらいたいという請願書の内容、市議会に請願書を出した写しと要旨である。上越市防犯灯の設置要綱並びに近隣の長岡市、新潟市、長野市の具体的な補助金、これについては長岡については5分の3市から出ている。新潟市については2分の1、長野市についても2分の1補助金が出ているということで、上越市の補助金については平成27年から令和4年度までで終了している。それでは困るということでこの手紙が来ている。この文書の内容は上越市のすべての地域協議会に送付しているということである。市の補助金制度は令和4年度に終了していて、今は全額町内会の負担となっている。どこの町内会でも全額負担は町内会計を圧迫している。請願として防犯灯に関する費用は市が全面的に支援を行い、令和6年度の予算に組み入れることを請願内容としている。最後に自治の案件であるため、各区の地域協議会はこのことを十分認識してほしい、今の市議は事の重大さを認識していないとのことである。

【田中委員】

針の町内会長あてにも同じ内容の文書が来ている。町内会では12月議会で否決されているのであればもう一度議会に働きかけるのが先決ではないかということで、町内会としては静観するという事になっている。

【平井会長】

今、針町内会にも同じようなものが来ているということで、これについてはとりあえず静観しておこうと思う。他の地域協議会にも来ているので、少し様子を見ようと思っている。

他にあるか。

(特になし)

その他については以上とする。

【古川副会長】

・挨拶

【内藤次長】

以上で、第10回板倉区地域協議会を終了する。

9 問合せ先

板倉区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL：0255-78-2141（内線123）

MAIL：itakura-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。